

新開発原材料「環境対応型リサイクルポリプロピレン材」を採用

～原材料のカーボンニュートラルを目指して、アセアン向けコミューターから使用を開始～

ヤマハ発動機株式会社は、二輪車の主要外装部品への使用が可能な高品質の「環境対応型リサイクルポリプロピレン材（ポリプロピレン材＝以下 PP 材）」の開発に成功しました。アセアン市場向けコミューターの 2023 年型主要モデルから、同原材料の使用を開始します。

「環境対応型リサイクル PP 材」は、石油化学メーカーや成形メーカーの工程内で発生するパージ材^{※1} や端材など、製造履歴をトレースでき、かつ環境負荷物質が混入する懸念のないプレコンシューマー材^{※2} のみを用いたリサイクル原材料です。

二輪車製品の外装部品には多くの樹脂材が使用されており、PP 材はそのうち約半分を占める主要部材です。当社では、以前よりリサイクル PP 材の開発と使用を推進していますが、新たに開発した「環境対応型リサイクル PP 材」は、従来のリサイクル材との比較で強度や外観品質レベルを向上させることができ、高い外観性が求められる部位に用いることができます。

今後は「環境対応型リサイクル PP 材」の活用により、二輪車製品におけるリサイクル材の採用比率を高めるとともに、二輪車以外の製品領域にも段階的に使用する計画です。

当社は「ヤマハ発動機グループ環境計画 2050」で、2050 年までに事業活動を含むサプライチェーン全体のカーボンニュートラル^{※3}を目指しています。その実現のため、100%サステナブル材への切り替え（2050 年）を目標に、グリーン材の採用やリサイクル材の拡大等を推進しています。

※1 樹脂合成切替時に発生する中間材

※2 消費者による使用を経ずにマテリアルリサイクルとして供給された材料

※3 企業活動における自社の排出（スコープ 1.2.）＋スコープ 1.2.以外の排出（スコープ 3.）



「環境対応型リサイクルポリプロピレン材」の採用例
（写真はインドネシア市場向け「GEAR125」）